

通し番号	5043
------	------

分類番号	R02-31-11-02
------	--------------

農商工連携での一次加工品製造の取組みは地域にも農業にも経済効果が高い	
<p>[要約] 当所育成品種‘湘南ゴールド’を原料とした加工品製造の事例調査から、一次加工段階の分業化は、①農商工連携相手の拡大、②一次加工段階での経済効果の発生、③分業化は農業サイドにとっても経済効果の高い連携であることを明らかにした。製造・流通各段階での農商工連携の効果は、6次産業化シミュレーターLASTSで試算でき、農業が製造・流通段階にもたらす経済効果と農業サイドにメリットの高い連携関係が発見できる。</p>	
神奈川県農業技術センター・企画経営部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

当所育成品種‘湘南ゴールド’青果の価格維持を目的に取り組まれた、規格外果実の加工仕向け流通は、数多くの企業による加工商品の商品化に結びついた。加工仕向け果実の流通経路は多様化し、農業サイドに経済効果が高い連携関係が発見するには金額ベースの評価では達成できない。そこで、農商工連携において、農業が商工業にもたらす付加価値、商工業から農業への貢献度、連携の各段階で農業がもたらす経済効果の3点を農研機構が開発した6次産業化シミュレーターLASTS ver.2（以下「LASTS」）を用いて評価するとともに、農商工連携の支援ツールとしてこのシミュレーターの有効性を検討する。

[成果の内容・特徴]

- 1 ‘湘南ゴールド’の一次加工品製造は、加工仕向け果実の流通量の2/3を占めている。連携する業種と商品は一次加工開始以降に拡大しており、流通量も拡大している。一次加工の取組みは、当初の青果の価格維持の目的を達成している（図）。
- 2 LASTSの分析から、一次加工と複次加工の分業は、農業が各段階にもたらす経済効果が高かった（表）。加えて一次加工の分業化は、農業にとって好ましい連携であること、さらにそれを農業サイドが行うことは、農業サイドにとって経済効果の高い取組みであることが明らかになった。
- 3 LASTSは、農商工連携による各業種への経済波及効果と農業への貢献度を数値化でき、農商工連携を生産振興に活用する際にブランド化、消費者への知名度の向上など各段階で望ましい連携関係の評価、検討するツールとして活用可能である。

[成果の活用面・留意点]

- 1 LASTSを利用するには、農研機構に利用申請することが必要である。
- 2 LASTSは、Microsoft Excelで稼働するが、ver.2はExcel2019以上の環境が必要である。
- 3 分析に必要なデータは、製造工程と段階別の単位、単価、販売数量、期間売上である。

[ 具体的データ ]

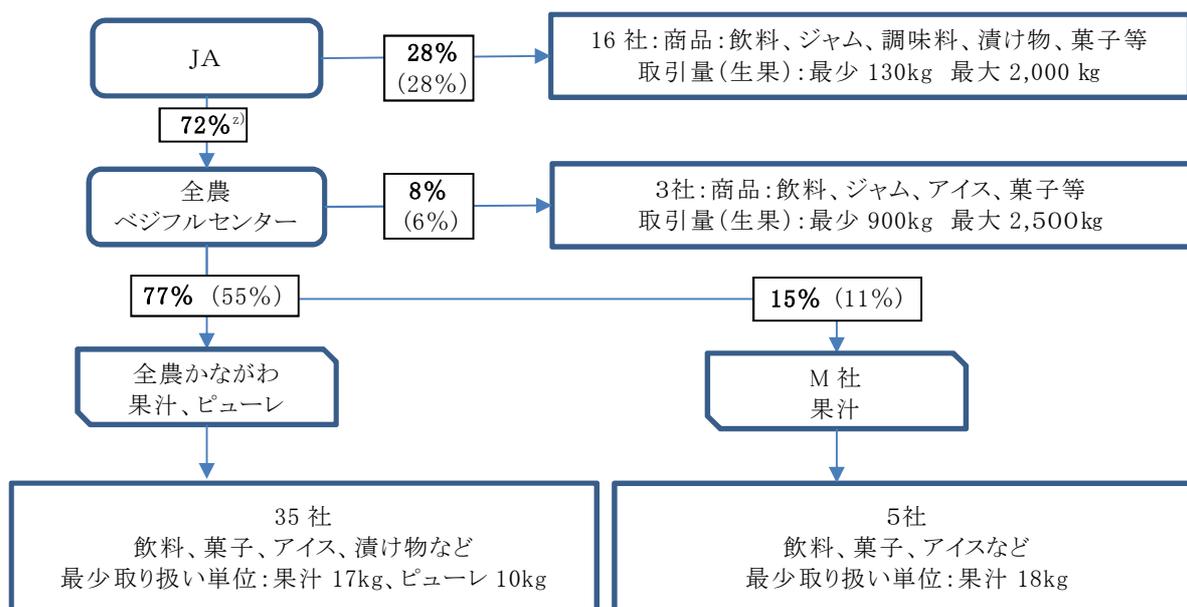


図 湘南ゴールドの加工流通の流れ

z: □内の太字%は、出荷量の流通割合を示す。()内の%は、JAの加工仕向け量を100%とした場合の流通割合を示す。

表 ‘湘南ゴールド’の加工製造段階別、流通過程別の総合利得<sup>z)</sup>の比較

流通 NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
事例	A社	B社	C社		D社	E社	F社	G農協		H社	
商品ジャンル	清涼飲料水 サイダー	アルコール飲料 ワイン	氷菓		アルコール飲料 ビール	菓子	アルコール飲料 サワー	清涼飲料水		清涼飲料水 サイダー	
原料使用量 (kg)	500	600	1,000	1,000	2,500	4,400	40,000	6,500	6,500	1,800	1,800
出荷団体	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
流通センター			1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
一次加工業						2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
複次加工業	19.4	19.5	9.7	9.7	24.0	10.1	4.8	8.6	8.6	22.2	22.2
小売(直納)	27.8	25.7	16.5		34.3	16.7	6.9	11.5		39.0	
卸売業				11.0							27.3
小売(卸経由)				16.5					12.8		40.0

z: 製造、流通の段階までの農業がもたらした経済効果。

[ 資料名 ] 令和2年度試験研究成績書

[ 研究課題名 ] 湘南ゴールドの農商工連携の経済評価

[ 研究期間 ] 2017(平成29)年度～2020(令和2)年度

[ 研究者担当名 ] 鈴木美穂子、北畠晶子、水澤莉奈、曾根田友暁

[ 協力・分担関係 ] (国研)九州沖縄農業研究センター